

(様式2B) 個別箇所評価総括表[継続] (要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号、事業名				補助・単独別		補助		建設部 河川課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	北沢川 宿岩 (佐久穂町)	[2期分] 護岸工L=640m 掘削工V=10,000m <sup>3</sup> 橋梁工7橋 [工期:H22~H26] [全体] 護岸工L=1,140m 掘削工V=13,000m <sup>3</sup> 橋梁工8橋 [工期:H20~H26]	護岸工 L=16m 橋梁工 N=1橋	護岸工 L=24m 橋梁工 N=1橋	護岸工 L=624m 橋梁工 N=6橋	必要性 C	28%	計画どおり進んでいる。 引き続き国道橋の架け替え工事及び護岸工を実施する。	本河川は、数年おきに沿川の民家が床下、床上浸水被害を被り、恒久的な対策を求める声強い現状や、地元組織も設立され、事業の受け入れ態勢も整っていることから、「継続」とする。	重要性、緊急性は認められる。	「継続」
		10億円	1億8600万円	1億5000万円	7億2200万円	重要性 A	特記事項 1期は測量・設計を実施し、一部用地買収に着手した。 H23変更:事業費4.8億円増 詳細設計の結果、橋梁架替費用および補償費の増額。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.2				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
2	金原川 海善寺北 本海野 (東御市)	[2期分] 護岸工L=350m 橋梁工N=1基 BOX工2基 [工期:H22~H26] [全体] 護岸工L=1800m 橋梁工N=21基 BOX工2基 [工期:H17~H26]	護岸工L=86m A=430m <sup>2</sup> 国道横断函渠工 N=1基	護岸工L=18m 国道横断函渠工 N=1基	護岸工L=219m 国道横断函渠工 N=1基	必要性 B	31%	計画どおり進んでいる。 平成23年度内に国道横断函渠工を完成させ、引き続き護岸工および下流部のしなの鉄道渡河部に着手する。	頻繁に溢水被害が発生しており緊急性も高く、国道、住宅地を流下する河川として重要性が高い。また、改修に対する地域住民との合意形成も図られていることを考慮し、継続とした。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		8億5000万円	2億7490万円	9000万円	5億7510万円	重要性 A	特記事項 1期は護岸工及び一部国道横断函渠工に着手した。 H23変更:事業費4.8億円増 下流部のしなの鉄道渡河部の工法見直しによる増額。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.2				
						緊急性 A	住民参加状況等 地域住民による河川沿川の美化活動が実施されている。				
3	大川 中央町 (岡谷市)	[2期分] 河道拡幅工L=400m 調節池 N=1池 [工期:H22~H26] [全体] 河道拡幅工L=2,300m 調節池N=3池 [工期:H15~H30]	河川改修 L=220m	河川改修 L=35m	河川改修 L=400m 調節池 N=1池	必要性 B	25%	計画どおり進んでいる。 引き続き、下流から河道拡幅工を実施する。	岡谷市中心市街地を流下する河川で、頻繁に浸水被害が発生しており、住民等から早期改修の要望が強く、重要性並びに緊急性が高いため、継続とする。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		7億7000万円	1億9000万円	8000万円	5億8000万円	重要性 A	特記事項 1期は、調整池:1箇所が完了し、下流から河道拡幅工に着手した。 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)において、コスト縮減を図りながら事業を継続することが方針として示された。 B/C(費用対効果)=5.9				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行われている。				

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	17 総合流域防災				補助・単独別	補助	建設部 河川課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
4	まねこ 諏訪湖  (岡谷市 諏訪市 下諏訪町)	[2期分] 水辺整備工L=960m (BゾーンL=660m、C ゾーンL=300m) 〔工期：H22～H26〕 〔全体〕 水辺整備工 L=12,000m 〔工期：H13～H26〕	水辺整備工 L=100m(Bゾーン)	水辺整備工 L=100m(Bゾ ーン)	水辺整備工 L=860m (BゾーンL=560m、C ゾーンL=300m)	必要性 A	5%	計画どおり進んでいる。 引き続き、水辺整備工を実施する。	これまでの整備実績 や関係者の意見等を 踏まえ、引き続きマス タープランの目的を 実現するため、継続とす る。	必要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 1期は、Bゾーンの水辺整備工に着手した。 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)におい て、環境モニタリング調査や関係者の意見等を踏まえながら事 業を継続することが方針として示された。 H7策定「諏訪湖の水辺整備マスタープラン」に基づく事業。					
						効率性 C						
		1億9000万円	1000万円	2000万円	1億8000万円	緊急性 A	住民参加状況等 アダプトプログラムによる清掃美化活動や自治会や学校等による 河川愛護活動が行われている。					
5	おぎわかわ 小沢川 の 伊那  (伊那市)	[2期分] 護岸工L=235m 落差工N=2基 〔工期：H22～H26〕 〔全体〕 護岸工L=1,618m 落差工N=11基 橋梁工N=7基 〔工期：H13～H26〕	護岸工 L=30m	護岸工 L=60m	護岸工 L=205m 落差工N=2基	必要性 A	65%	計画どおり進んでいる。 引き続き、下流から護岸工を実施する。	流域の資産集積が 高く、重要性が高い ため、継続とする。	必要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 1期は、下流から護岸工を実施した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.7					
		2億3000万円	1億5000万円	6000万円	8000万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行 われている。					
6	しんどがわ 新戸川 の 飯沼  (飯田市)	[2期分] 護岸工L=130m 〔工期：H22～H24〕 〔全体〕 護岸工L=1,560m 〔工期：H18～H24〕	護岸工 L=45m	護岸工 L=50m	護岸工 L=85m	必要性 B	15%	引き続き護岸工を施工する。	流域内に多くの公共 施設や住宅地等が あり、重要性が高い ため、継続とする。	重要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 1期は、用地買収を実施した。 H21補助事業計画見直し：多自然川づくりに配慮した計画に変 更。 H23県道橋梁の架け替えにあわせ、拡幅改良事業を同時施行 する。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.7					
		3億4000万円	5200万円	5000万円	2億8800万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元自治会によるゴミ拾いや草刈りの活動がある。					

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	17 総合流域防災		補助・単独別	補助	建設部 河川課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
7	ふりがな 円悟沢川 まるやま丸山  (飯田市)	[2期分] 護岸工L=320m (工期:H22~H26) [全体] 護岸工L=695m (工期:H17~H26)	休止	休止	護岸工L=320m	必要性 C	0%	事業計画の検討及び関係者協議に時間を要している。	事業区間は、上下流が改修済みの中抜区間であり、治水 上必要性が高い。 一方で、関係者協議及び事業計画の決定に時間を要するため、平成23年度は休止する。	見直し後の計画に沿った整備の必要性は認められる。	「休止」
						重要性 B	特記事項 H18再評価:「継続」...多自然川づくりに配慮し、河川断面等を見直すとともに、コスト縮減を図る。 1期は、調査及び地元関係者との協議を行った。 新たな技術基準に基づき、河川断面等の見直しを行い、地元関係者との設計協議を進め、引き続き事業計画の決定及び地元定着を行う必要がある。 B/C(費用対効果)=1.3				
		3億4000万円	0円	0円	3億4000万円	効率性 B	住民参加状況等 地元まちづくり委員会による草刈や河川清掃等の河川愛護活動が行われている。				
						緊急性 C					
8	ひめわ 姫川 かみしろ 神城  (白馬村)	[2期分] 築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工 L=500m (工期:H22~H26) [全体] 築堤工L=2,930m 護岸工L=5,860m 軟弱地盤対策工 L=1,500m (工期:H5~H26)	休止	休止	築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工 L=500m	必要性 C	0%	平成18年度公共事業評価結果をうけ、計画の見直し中のため休止。	平成18年度の再々評価結果を受け、事業を見直しているため平成23年度は休止とする。	見直し後の計画に沿った整備の必要性は認められる。	「休止」
						重要性 A	特記事項 H18再評価:見直して継続  1期は、下流から護岸工を実施した。 計画最上流部において、護岸計画を一部とりやめ既存の河畔林帯を生かした計画に見直しを行っている。				
		1億2800万円	0円	0円	1億2800万円	効率性 C	B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 C	住民参加状況等 地元在住の自然保護の専門家の指導のもと、地元住民と協議して工法検討している。				
9	あかだかわ 岡田川  しのの 篠ノ井  (長野市)	[2期分] 護岸工 L=1150m 河床掘削工 V=40,000m3 橋梁 3橋 (工期:H22~H26) [全体] 護岸工L=4,248m 河床掘削工 V=144,000m3 橋梁 17橋  (工期:H17~H26)	護岸工L=410m 河床掘削工 V=17700m3	護岸工L=200m	護岸工 L=740m 河床掘削工 V=22,300m3 橋梁 N=3橋	必要性 A	50%	1期分の護岸工が終了し、H22年度から河床掘削を実施中。	本川沿いでは区画 整理事業が実施され ており、保全対象も 増加傾向にある。 現在の流下能力は とても低く、早期の 改修が必要なため 継続とする。	必要性、緊急性が 高く、重要性も認 められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 1期は、下流から護岸工・河床掘削工を実施した。 H23変更:2期分の施工延長585m及び事業費5.6億円増。 平成18年7月及び平成22年7月梅雨前線豪雨により内水被害発生。				
		8億円	3億9720万円	1億4800万円	4億280万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=3.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
合計	9箇所	46億4800万円	12億6010万円	5億9800万円	32億9590万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			